

令和6年（2024年）11月9日に 鹿児島県に大雨特別警報を発表した事例

令和7年2月 気象庁大気海洋部

気象と災害の概況

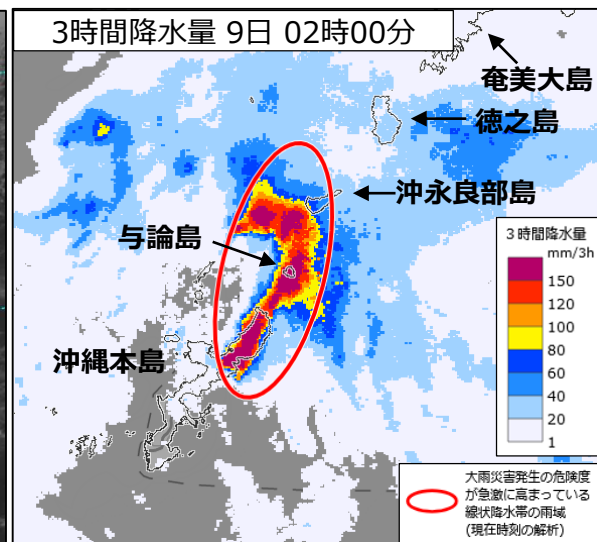
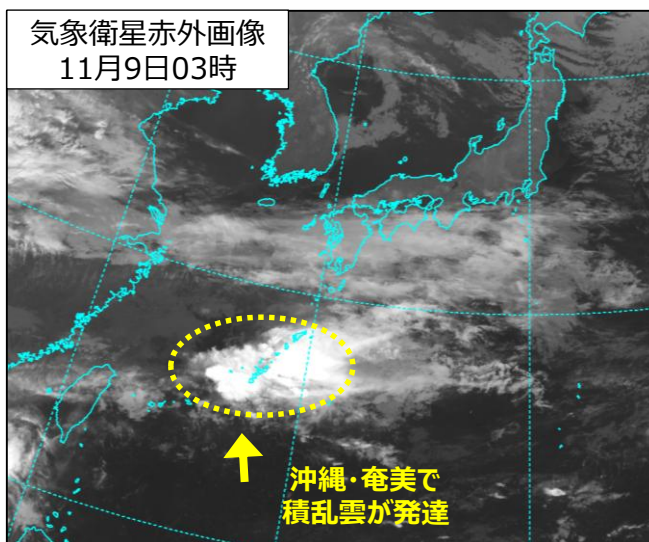
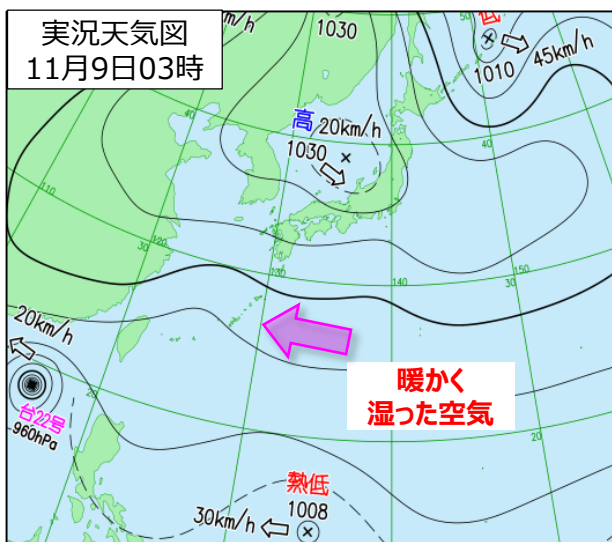
■ 概要

- 奄美地方（鹿児島県）と沖縄本島地方では、11月8日から10日にかけて、高気圧の縁を回る暖かく湿った空気が流れ込んで大気の状態が非常に不安定となり、局地的に雷を伴った猛烈な雨※が降り大雨となった。
- これらの地域では、9日未明から線状降水帯が発生して災害発生の危険度が急激に高まった。奄美地方では、さらに激しい雨が降り続いて重大な災害の起こるおそれが著しく高まったことから、気象庁は9日未明に鹿児島県与論町に大雨特別警報を発表した。この期間、奄美地方と沖縄本島地方の多い所では、1時間降水量が100ミリ、3時間降水量が200ミリ、48時間降水量が600ミリを超えるなど、観測史上1位の値を更新した地点があり、記録的な大雨となった。
- この大雨の影響で、奄美地方と沖縄本島地方では、河川の氾濫、浸水害が発生し、住家被害等が発生した。

※ 猛烈な雨：1時間に80mm以上の雨

■ 人的・住家被害の状況（令和6年11月11日8時00分内閣府とりまとめによる） 鹿児島県のみ抜粋

- 床上浸水20棟、床下浸水9棟（人的被害の報告なし）



11月9日に鹿児島県に対して特別警報を発表した際の気象状況

左：実況天気図 中央：気象衛星赤外面像 右：3時間降水量（気象レーダーによる解析）

特別警報発表状況と降水量について



歩み続けて150年 防ぐ災害・守る未来

■ 大雨特別警報の発表状況

| 都道府県 | 発表地域 | 発表時刻 | 警報への切替時刻 |
|------|------|-------------|-------------|
| 鹿児島県 | 与論町 | 11月9日02時40分 | 11月9日14時00分 |



■ 11月8日から10日の降水量について

降水量期間合計値（多い所の上位3地点）

| 都道府県 | 市町村 | 観測地点 | 降水量 (mm) | 11月平年値 (mm) |
|------|--------|-----------|----------|-------------|
| 鹿児島県 | 大島郡与論町 | 与論島（ヨンジマ） | 650.5 | 124.4 |
| 沖縄県 | 国頭郡東村 | 東（ヒガシ） | 649.0 | 135.8 |
| 沖縄県 | 国頭郡国頭村 | 奥（オク） | 498.0 | 189.5 |

48時間降水量期間最大値（観測史上1位を更新した地点）

| 都道府県 | 市町村 | 観測地点 | 降水量 (mm) | 日時分 (まで) |
|------|--------|-----------|----------|-------------|
| 鹿児島県 | 大島郡与論町 | 与論島（ヨンジマ） | 640.5 | 11/10 08:20 |
| 沖縄県 | 国頭郡東村 | 東（ヒガシ） | 639.0 | 11/10 21:40 |

24時間降水量期間最大値（観測史上1位を更新した地点）

| 都道府県 | 市町村 | 観測地点 | 降水量 (mm) | 日時分 (まで) |
|------|--------|-----------|----------|------------|
| 鹿児島県 | 大島郡与論町 | 与論島（ヨンジマ） | 594.0 | 11/9 08:20 |
| 沖縄県 | 国頭郡東村 | 東（ヒガシ） | 486.5 | 11/9 16:00 |

6時間降水量期間最大値（観測史上1位を更新した地点）

| 都道府県 | 市町村 | 観測地点 | 降水量 (mm) | 日時分 (まで) |
|------|--------|-----------|----------|------------|
| 沖縄県 | 国頭郡東村 | 東（ヒガシ） | 392.0 | 11/9 04:50 |
| 鹿児島県 | 大島郡与論町 | 与論島（ヨンジマ） | 286.5 | 11/8 18:20 |

3時間降水量期間最大値（観測史上1位を更新した地点）

| 都道府県 | 市町村 | 観測地点 | 降水量 (mm) | 日時分 (まで) |
|------|--------|----------|----------|------------|
| 沖縄県 | 国頭郡東村 | 東（ヒガシ） | 252.5 | 11/9 03:00 |
| 沖縄県 | 国頭郡国頭村 | 国頭（クニガミ） | 147.0* | 11/9 02:10 |

※ 観測資料の一部が欠測。

1時間降水量期間最大値（観測史上1位を更新した地点）

| 都道府県 | 市町村 | 観測地点 | 降水量 (mm) | 日時分 (まで) |
|------|-------|--------|----------|------------|
| 沖縄県 | 国頭郡東村 | 東（ヒガシ） | 101.5 | 11/9 02:47 |

降水量の予想と実際の状況について

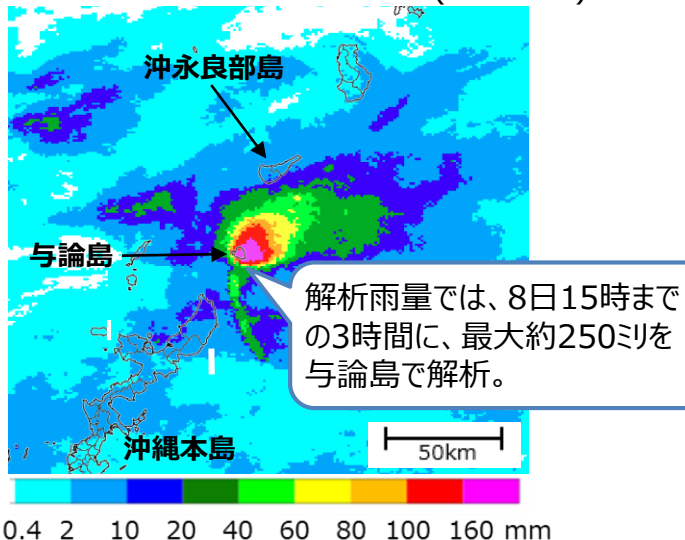
- 鹿児島県奄美地方では、11月8日から9日にかけて、暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となるため大雨になると予想し、8日昼過ぎから気象情報を発表して土砂災害への嚴重な警戒を呼びかけ、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫への警戒も呼びかけた。
- 大雨特別警報を発表した与論町では、8日昼過ぎから夕方にかけて発達した雨雲が停滞し猛烈な雨が降り、アメダス観測所の「与論島」では、8日18時までの6時間に280ミリを超えて観測史上1位を更新した。さらに、9日未明に線状降水帯が発生して再び猛烈な雨が降り、アメダス与論島では、9日6時までの24時間降水量は平年の年間降水量の約3分の1に匹敵する580ミリを超えて観測史上1位を更新し、予想を大きく上回る記録的な大雨となった。

※詳細は、線状降水帯の検証資料 (<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jirei/senjokousuitai/R061109.pdf>) を参照。

8日朝の時点の予想3時間降水量（多い所）

| | 8日12時～18時 | 8日18時～24時 | 9日0時～6時 |
|------|-----------|-----------|---------|
| 奄美地方 | 45 ミリ | 45 ミリ | 45 ミリ |

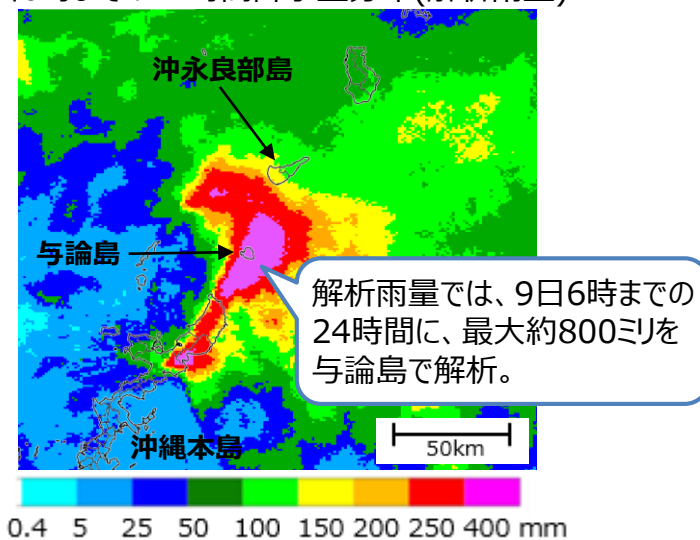
8日15時までの3時間降水量分布(解析雨量)



8日朝の時点の予想24時間降水量（多い所）

| | 9日6時まで |
|------|--------|
| 奄美地方 | 100 ミリ |

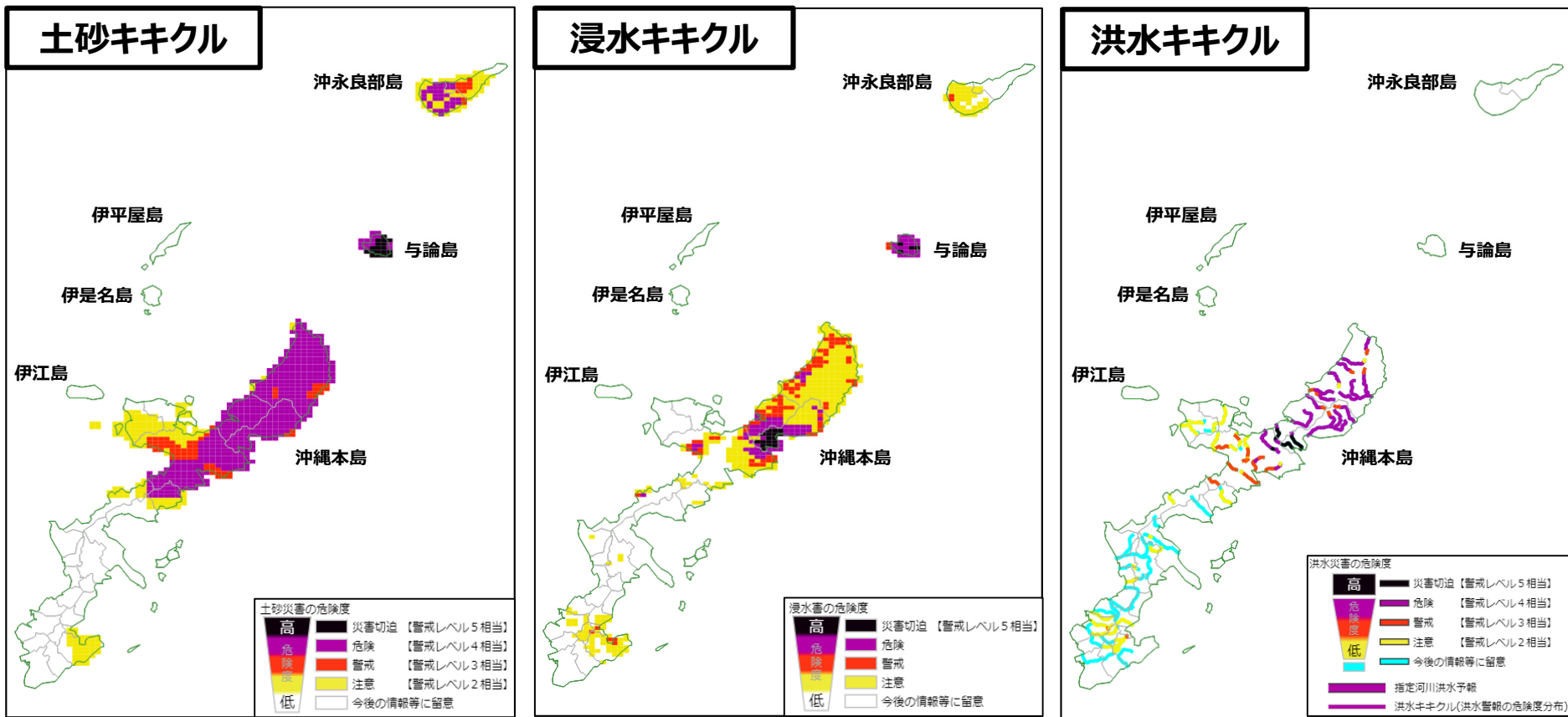
9日6時までの24時間降水量分布(解析雨量)



アメダス与論島では、8日18時までの6時間に280ミリを超え、9日6時までの24時間に580ミリを超える記録的な大雨を観測した。

キキクル（危険度分布）の状況

- 11月8～9日：奄美地方では、土砂キキクルや浸水キキクルで危険(紫)が広がり、災害切迫(黒)が出現した。沖縄本島地方では、全てのキキクルで危険(紫)が広がり、浸水キキクルや洪水キキクルで災害切迫(黒)が出現した。



11月8日15時から9日15時にかけて出現した各格子・各流路ごとの最大の危険度